

北上川ダム統合管理事務所 地震復旧情報（終報）

～石淵ダム機能評価調査検討会においてダム機能の
安全が確認されたため通常の運用に戻します～

昨年の6月14日に発生した「平成20年 岩手・宮城内陸地震」により、北上川ダム統合管理事務所では「石淵ダム安全確認試験」を実施し、ダムの機能に影響する異常が認められなかったことから、12月19日に「注意体制を解除」しました。

また、ダムの有識者により進められていた「石淵ダム機能評価調査検討会」を1月21日に開催し審議された結果、ダム機能の安全が確認されたため、ダムの運用を地震前の通常運用の状態へ戻します。

【経緯】

- ・ 6月14日 8時43分 地震発生に伴い、災害対策支部「非常体制」発令
- ・ 6月14日16時45分 石淵ダム現地対策本部設置
- ・ 6月18日17時00分 応急復旧完了及び監視体制確立に伴い、災害対策支部「警戒体制」に移行。併せて、石淵ダム現地対策本部を解散
- ・ 6月18日19時00分 余震発生に伴い、災害対策支部「非常体制」に移行
- ・ 6月19日18時30分 所管施設点検完了及び復旧工事着手に伴い、災害対策支部「警戒体制」に移行
- ・ 10月31日 9時00分 ダム堤体天端補修完了、監視観測データ異常なしを確認したため災害対策支部「注意体制」に移行
- ・ 11月 1日 9時00分 ダム安全確認（湛水）試験開始（EL312.00m）
- ・ 11月25日19時00分 ダム貯水位（EL317.5m）、安全確認試験（最高水位）
- ・ 12月19日 6時00分 ダム貯水位（EL314.4m）、地震被災時の貯水位まで低下
- ・ 12月19日 9時00分 災害対策支部「注意体制」を解除
- ・ 1月21日 「第2回石淵ダム機能評価調査検討会」開催

【安全確認により通常運用へ】

北上川ダム統合管理事務所では、昨年の「平成20年 岩手・宮城内陸地震」で被災を受けた石淵ダムの安全確認のため、通常の運用水位（EL 317.5m）までの「安全確認試験」を実施し、その結果、漏水量、堤体変位、潜水調査のデータに異常が認められなかったことから、12月19日に「注意体制」を解除しました。

また、ダム有識者による「石淵ダム機能評価調査検討会」（座長、独立行政法人土木研究所 地質監 吉田 等）の「第2回検討会」を開催し、石淵ダムの機能に関して安全であるとの評価を頂きましたので、石淵ダムのダム運用を1月21日から地震前の「通常運用」へ戻します。

ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧いただけます。
ホームページURL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

※ 発表記者会：岩手県政記者クラブ

| |
|--|
| 問い合わせ先 |
| 国土交通省 北上川ダム統合管理事務所 副所長（技術） 鈴木 弘二 TEL 090-5840-2191 |

石淵ダム機能評価調査検討会 委員名簿

- ・ 吉田等 (独) 土木研究所 地質監
- ・ 松本徳久 (財) ダム技術センター 顧問
- ・ 藤澤侃彦 (財) ダム技術センター 顧問
- ・ 山口嘉一 (独) 土木研究所 水工研究グループ
ダム構造物チーム 上席研究員
- ・ 脇坂安彦 (独) 土木研究所 材料地盤研究グループ
グループ長
- ・ 藤澤和範 (独) 土木研究所 土砂管理研究グループ
地すべりチーム 上席研究員
- ・ 阿部幸雄 国土交通省東北地方整備局 河川部 河川情報管理官
- ・ 佐々木隆 国土交通省東北地方整備局 胆沢ダム工事事務所長
- ・ 葛西敏彦 国土交通省東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所長

平成20年7月19日設立 (第1回検討会)